

ニコニコボックス： 27日現在累計 742,000円

山崎 勲 君 山本先生悩みは早く言ってしまった方が気持ちが楽になりストレスが無くなります。

高橋 彰雄 君 先月五人目の孫、初めての内孫が生まれ東京へ会いに行ってきました。元気に大きな声で泣いて居りました。

柄沢 憲司 君 山本さんの卓話ご苦労様です

小林 満 君 都合により早退です。山本先生の「悩み」聞けなくて残念です。山本先生のような方でも「悩み」をお持ちなのか不思議です。

芦田 義重 君 山本先生の卓話ごくろうさまです。楽しみにしておりました。

梨本 清一 君 所用にて早退をお許し下さい。山本先生ごめんなさい。

佐藤 義英 君 山本先生の卓話に期待して!!

佐藤 弘志 君 山本さん、私の悩みどんな悩みか楽しみです。

西村 護 君 BOXに協力!／

大橋 政雄 君 春ですね!／

堀川 正幸 君 合日は良い天気で、いよいよゴルフシーズンの到来を予感させます。日曜、休日ならO、Kです。空気があったら誘って下さい。

青木 省一 君

久保 博 君

佐藤 啓策 君 山本先生、卓話御苦労様です。楽しく聞かせて頂きます。

ロータリー財団：

山本 賢 君 「私の悩み」の卓話を設定下さいましたみなさんに感謝します。

米山奨学会：

大竹 保男 君 山本先生からボックス協力していただきましてありがとうございます。協力に感謝して。

山本 賢 君 還暦直前に第1級アマチュア無線技士の免許証を総務大臣から頂きました。また道楽にお金がかかります。

卓話： 「私の悩み」 山本 賢

病院を経営しながら日頃痛感していることについて述べさせていただきます。医療に携わる者が常に心に掛けていることは、利用者に可能な限り良質の医療を提供し続けることであります。特に病院は高度の設備と診療機器を備え、優れたスタッフを揃えなければなりません。たとえば厚生省の「医療施設調査」にありますように、病院が備える大型診断機器・治療機器は年を追って増えており、この傾向は今後も止まることのないでしょう。



ところで、日本の病院は欧米と異なる歴史的経過から、公的病院に比べて私的病院が多いのが現状であります。しかも、公的・私的を問わず国が一律に個々の医療行為ごとに定めた出来高払いを主たる原則とする診療報酬に従わざるを得ず、これに違背すれば保健取扱医療機関でなくなることもあります。このため、私的病院にはときに過剰とも感ぜられるほどの規則が存在するのです。主な問題点をあげてみましょう。

医療法第七条四項は、病院が利益を追求してはならないとしています。一見妥当とみられますが、「利益の」の内容が問題になるのです。億単位の高価な診療機器の耐用年数もせいぜい5～8年であります。これを借金せずに無理なく更新するには、年々それだけの財源を蓄えられるだけの余裕が必要となります。とくに最近のシステム化された大型機器を導入するには施設の改築を要する場合がありますので、改修費がかかるのは老朽化施設の場合だけではないのです。快適さも追求して改築・拡張するには、膨大な財源を確保しなければなりません。これを年々剰余金として取り込むこと、即ち、現行診療報酬制度の中で努めて営利を図ることが許されなければ、この条項は病院を倒産に追い込む意味しかありません。

では実態はどうでしょうか。厚生省健康政策局の「病院経営指標（医療法人病院の決算分析）について」でさえ、200床未満のいわゆる中小病院1115施設のうち27.2%が赤字であるとしています。しかも黒字病院においてすら、医業収益対医業利益率5.2%と低いです。つまり、1万円を稼ぐために9480円を支出している有様であって、これら中小病院は黒字の場合でも財源蓄積の余裕はないのであります。200床以上の一般病院では各項の比率が変わり、とくに材料費が高くなります。病床が多いほど医業収益対医業利益率は一般に下がり、黒字の病院でも5%を割るところが大半なのです。

このように、自己資金による施設改修や機器更新などは、私的病院では不可能になっています。その結果、公私の病院が同じ土俵の上で医療の質を高めるよう競い合うのに歯止めがかけられることとなるのです。

会 員 の 声： 馬場直次郎

世の中、景気が悪いと言われて、ずいぶんと経つが、一向に良くなる気配が見あたりません。むしろ段々と下降線をたどっているように思われてなりません。企業の間では良いところと悪いところの格差が益々ひろがってきたように感じられる近頃です。

ところで当社では1月決算なのですが、どうやら前年をわずかにクリアした様子なので内心ホッとしているところです。悪事を働き手が後ろに回らない事だったら何でも商いをやりまじょうのスタンスで、本命のユニフォームを始めジーベックで製造発売された「軽量、幅広、そしてメチャ低価格」のスニーカータイプの安全靴シリーズが爆発的な大ヒットとなり、お陰で当社も大いにそ